

平成19年5月10日

各位

会社名 トヨタ自動車株式会社
代表者名 取締役社長 渡辺捷昭
(コード番号 7203 全国証券取引所)
お問い合わせ先 経理部長 佐々木 卓夫
(TEL 0565-28-2121)

(訂正)平成19年3月期 決算短信の一部訂正について

平成19年5月9日付で発表いたしました「平成19年3月期 決算短信」の記載内容について誤記がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

訂正箇所（下線で表示）

決算短信（連結8ページ）

<訂正前>

経営方針：2. 中長期的な会社の経営戦略

当社は、今後もさらなる成長を続けていくため、グループの総力をあげて以下の課題に取り組んでいきます。

まず、当面の課題として、国内では、レクサスブランドの国内導入とともに、トヨタ店、トヨペット店、カローラ店およびネッツ店の各チャネルアイデンティティを一層明確化させ、国内販売体制のさらなる強化をはかります。一方、海外では、北米・欧州・アジアなどで、新工場の円滑な立上げに全力で取り組むとともに、生産・調達・販売体制の基盤整備をより一層進め、それぞれの地域に根ざした企業活動を推進します。

中長期的な課題としては、第一に、環境に優しく、安全で快適な魅力ある商品を、世界中のお客様へ提供し続けるため、先端技術の開発と商品化を重点的に推進します。次に、オールトヨタの総合力を結集し、世界トップ品質の維持・向上とコスト競争力の強化に努め、最適な事業体制を構築して、成長と効率の両立をはかります。また、グローバルな視点での社会貢献活動や法令の遵守をはじめとした企業行動倫理の徹底など、CSR活動を推進して企業の社会的責任を果たし、活力と品格に満ちた会社を目指します。さらに、企業の競争力の原点は人づくりであり、次の世代にトヨタのモノづくりの技術・技能・価値観を伝承していく、創造性豊かな人材の育成に取り組みます。

これらの課題への取り組みを通して、当社は世界規模での競争に勝ち抜き、21世紀も「モノづくり」に根ざした社会との調和ある成長を続ける企業として、企業価値の向上に努力していきたいと考えています。

<訂正後>

経営方針：2. 中長期的な会社の経営戦略

当社は磐石な基盤を築きながら更なる飛躍を続けていくため、グループの総力をあげて以下の課題に取り組んでいきます。

まず、当面の課題として、国内ではお客様のニーズを先取りした市場創造型商品の投入や、クルマへの興味・関心をより強くもっていただくための需要喚起策をスピード感を持って行うことで、国内市場の活性化に努めていきます。一方、海外では米国ミシシッピ州、カナダ、ロシアおよび中国における新工場の円滑な立ち上げに全力で取り組むとともに、生産・調達・販売体制の基盤整備をより一層進め、それぞれの地域に根ざした企業活動を推進します。

中長期的な課題としては、第一に環境・安全・エネルギーに関する革新的な技術開発・商品化を重点的に推進し、人・社会・地球に優しい究極の車づくりを実現させていきます。次に、トヨタの強みである現地現物での品質改善を全世界で行い、世界トップ品質の維持・向上とコスト競争力の強化に努め、質の高い持続的成長を支えていきます。また、グローバルな視点での社会貢献活動や法令の遵守をはじめとした企業行動倫理の徹底など、CSR活動を推進することで企業の社会的責任を果たします。さらに、企業の競争力の原点は人づくりとの思いから、次の世代にトヨタのモノづくりの技術・技能・価値観を伝承していく、創造性豊かな人材の育成に取り組めます。

これらの課題への取り組みを通して、21世紀も「モノづくり」に根ざした社会との調和ある成長を続ける「活力と品格」に満ちた企業として、企業価値の向上に努力していきたいと考えています。

以 上